



# あらかわ一義 市政だより そくさいかいね



謹んで新春のお祝いを申し上げますと共に、本年も皆様  
御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

令和3年1月発行 No.71

## 市長提案理由説明

▼令和2年度・市議会定例会12月会議が、12月1日から12月17日までの17日間を会期として開催されました。

▼新市長は冒頭、七尾市政運営方針について「市民の笑顔があふれる七尾」の実現のため、市民の声を大切に、情熱を持って、3つの柱を着実に推進するとしました。

### 1. 「笑顔あふれるまちづくり」

生まれ育った七尾のまちで、赤ちゃんからお年寄りまで、だれもが笑顔で暮らせる環境づくりの推進。

✓地域福祉ネットワークの充実 ・ 安心して子育てができるよう保護者のニーズを捉えた子育て家庭への経済的支援の充実や、すべての市民が互いに支え合い生きがいを持って活躍できる社会の実現を目指します。

✓地域包括ケアシステムの構築 ・ 地域で暮らしながら、必要な医療・介護・生活支援などを一体的に提供できるシステムの構築を推進します。



### 2. 「元気な地域経済づくり」

市民が幸せを感じられるまちづくりを進めるには、地域経済の活性化が必要不可欠。

✓定住人口の拡大と地域の活力 ・ 商工会議所や商工会など、経済関係者との連携強化を図りながら、地元企業への支援や新たな企業誘致を図ります。

✓交流人口の拡大 ・ 七尾城跡や伝統的な祭りなど、魅力ある観光資源の情報をしっかりと発信していきます。七尾港の整備の推進やポートセールスの強化、能登の里山里海の豊かな自然に育まれた食を活かした地域活動への支援にも力を入れていきます。

### 3. 「日本一住みやすいまちづくり」

✓IoT技術の導入 ・ 河川の氾濫や浸水対策など、災害に強いまちづくりを推進するほか、市内全域に高速インターネット網を整備し、観光、農業、教育など様々な分野でのIoT技術の導入に向けた環境づくりを進めます。

▼これら3つの柱を着実に推進し「市民の笑顔があふれる七尾」実現のため、一歩ずつ歩んでまいりたいと所信を述べました。



▼今定例会の一般質問には、一括方式6名、一問一答方式7名、計13名の議員が質問にたち、活発な議論が交わされました。今定例会の概ねをご報告いたします。



# 令和2年度12月補正予算の概要

## (1) 一般会計補正予算額

① 一般会計12月補正予算額 … 3億7,736万6千円の増額

	補正前予算額	補正後予算額	対前年比
令和2年度	39,896,769千円	40,274,135千円	+1.0%

## ② 財源内訳

国庫支出金	1,312,937千円	県支出金	14,327千円
寄付金	91,446千円	諸収入	56,949千円
繰越金	27,158千円	繰入金	△1,125,451千円



## (2) 一般会計の主要事業

(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
ふるさと納税推進事業	ふるさと納税寄付金の増額に伴う返礼品等に係る経費の増額 4億円 → 4.9億円	45,000	商工 観光課
ふるさと納税振興基金	ふるさと納税寄付金の増加に伴う基金積立金の増額	45,000	
定住人口促進住宅取得奨励事業	定住促進住宅取得奨励金の実績見込みによる増額 奨励金・当初50,000千円→実績見込み58,000千円	8,000	都市 建築課
地方バス路線維持対策事業	赤字路線における運航欠損額の補助金増額 対象・北鉄能登バス(株)、能登島交通(株)11,130千円 車両購入に係る補助金 対象・能登島交通(株) 5,000千円	16,130	企画 財政課
私立保育所運営費	私立保育所保育費 制度改正等に伴う給付費の増額 … 34,930千円 私立保育所特別保育事業費 制度改正等に伴う補助金の増額 … 21,040千円 私立保育所運営費補助金 … 1,200千円 子どもの登降園管理等業務のICT化に係る補助金 対象施設・袖ヶ江みなとこども園、のとじま幼保園 補助割合・国1/2、市1/4、法人1/4	57,170	子育て 支援課
ひとり親世帯臨時特別給付金	8月に支給した一人り親世帯への臨時特別給付金再支給。1世帯5万円、第2子以降1人当たり3万円	26,174	
小中学校運営費	小学校運営費 新型コロナウイルス感染症対策費 … 2,000千円 内容 … 空気清浄機等感染症対策物品の購入 中学校運営費 新型コロナウイルス感染症対策費 … 3,000千円 内容 … 空気清浄機等感染症対策物品の購入	5,000	教育 総務課
いじめ・不登校対策事業	七尾市いじめ問題調査委員会に係る経費の増額 内容 … 委員報酬、委員旅費	780	



## ■ 議会質問 ■

### ■ 駅前の賑わい創出とパトリア再生について

駅前のコンパクトシティを、どう創り込んでいくのかが問われており、並び立つパトリアとミナクルが、市街地中心の拠点としての機能が果たせる様にする事が重要だと思う。

1. 幅広く市民の声を反映させる取り組みについて
2. 総合的に駅前ににぎわいをつくる考え方について
3. 1F 出店予定のディスカウントストアとの出店交渉状況と、パトリア全体のテナント状況

#### 市長答弁

1. 経済界と連携し、地域未来に向けた新たなプロジェクトチームをつくり、専門家を交えて幅広く市民の意見やアイデアを聴く体制が必要と考えている。
2. 4つのコンセプトを考えている。①地元のお年寄りや学生が集い、憩える場所の確保、時間、そういうものをしっかり確保したい。②駅前の利点を活かし、市外、県外、海外から観光客等が集まり、交流関係人口の増加につながる施設にしたい。③能登の玄関口として、奥能登の市町とも連携し、奥能登への誘客につながる場所にしたい。④地元の地域資源を活かし、地域の活性化や地域産業にプラスになる施設にしたい。
3. 1階のキーテナントの出店に関して、現在も引き続き協議を続けている。交渉過程については、情報管理を厳重に取り扱う事とされており、詳細については申し上げられません。パトリア3階については、来週中にオープンを予定している事務所があり、テナント入店希望の専門店は現在23社であり、その内、使用許可申請を提出した専門店は8社あります。



### ■ 保育人材不足の対応策について

市内の保育施設は国の定める最低基準の人員配置で運営しており、慢性的な保育人材不足が続いている。

保育人材の確保は、あらゆる子育て政策の中で、実施の中核となるべき施策であり、約9割の子どもを受け入れている、七尾市法人立保育連絡協議会からは、毎年、市への要望が挙げられている現状がある。先の議会では、市職員の保育士の状況は、2022年時点で約50名近くの保育士が勤務しており、法人立保育園への派遣などの手法も検討する必要があるとしている。

市長には、保育人材不足に対応するための制度の創設に取り組み、将来を担う子育て環境の充実を図るべきだと思うが、この点について見解を伺う。

#### 市長答弁

市内の法人立保育園では、保育士不足により特別保育事業を実施できない、また、実施しても保護者のニーズに十分に対応できないなどの問題があると認識している。

このため、市職員の保育士の派遣を検討した結果、まず派遣する事で保育士不足を解消し、保育サービスの充実、保育の質の向上が図れる。続い

て、派遣で新たな考え方やスキルを身につけ、職員自身のスキルアップにつながると考えている。それから、派遣先から戻ってきた際、現場でその力を発揮したり、他の職員と共有することで、公立保育園のレベルアップが期待されます。

これらの効果が見込まれることから、今後、法人立保育連絡協議会と派遣条件を整備し、来年度から市職員の派遣を実施していきたいと考えている。





■本会議終了後、議長・副議長が記者会見し、議会として市民への謝罪をしました。

### 謝 罪 声 明(全文)

市議会議員杉本忠一君が、去る12月10日、市役所内に金属バットを携えた不審者として、石川県迷惑防止等条例違反として現行犯逮捕されました。

これは市議会議員として恥ずべき行為であり品位と名誉を著しく損なう者であります。同時に、市議会に対する市民の信頼を失墜せしめたものであります。七尾市議会としては誠に遺憾であります。

よって、当人には深く反省を求めるとともに、自らの出处進退を明らかにすることを厳しく求めることとしました。

ここに、七尾市議会を代表して市民に深くお詫び申し上げ、市民の信頼回復に全力を注ぐものであります。



### <杉本忠一議員に対する議員辞職勧告決議(全文)>

我々七尾市議会議員は、市民全体の代表者として信頼される行動をし、地方自治の本旨の基、七尾市議会基本条例及び七尾市議会議員倫理条例に従い、その使命達成に努めなければならない。

しかし、杉本忠一議員は、令和2年12月10日、市役所に金属バットを持参して来庁した。この事が、庁舎内の職員及び市民に多大なる不安感を与えた。このあと、杉本忠一議員は、金属バットを持参したまま杉本議長に面会を申し出た。このような一連の流れの中で、杉本忠一議員は、石川県迷惑防止等条例違反で現行犯逮捕されました。現職の市議会議員が逮捕された事実は、新聞やテレビ等で報道されることになり、七尾市民及び県内外から非難と厳正なる対処を求める声が寄せられるなど、七尾市議会の信用を大きく失墜させました。

この様な行為は、市議会議員として、品位と名誉を著しく損なう恥ずべき行為であり、市民の信託を受けた代表として自覚を著しく欠いた行為の責任は免れず、市民感情からしても到底許されるものではありません。

よって、七尾市議会は、杉本忠一議員に対して自らの意思により直ちに議員を辞職するよう強く求めるため、ここに議員辞職勧告を決議する。